



学校だより 7・8月 第391号

令和5年6月27日 発行

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/>



～誰もが暮らしやすく平等にするために～

学校長

六つ川西小学校の代表としてスピーチコンテストに参加した6年生代表児童のスピーチテーマです。

令和5年6月22日(木)に南公会堂を会場として「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト(南区審査会)」が開催されました。今年で27回目を迎えるこのコンテストでは2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)に基づき、貧困をなくすことや、不平等を減らすことなど、様々な視点から国際平和に対する熱い思いを横浜の子どもたちが、発信します。

今年のテーマは「国際平和のために、自分がやりたいこと」

この審査会に参加した6年生の代表児童は、広い会場で多くの人が見守る中、堂々とスピーチを披露することができました。

国語の学習で手話を知り、障がいをもつ人と関わりたいと思うようになった児童は、世界人口の15%にあたる約10億人の人に障がいがあることを知り、障がい者差別と向き合い、誰もが平等に接する気持ちを大切にすることでこそ、差別のない、誰も

が暮らしやすい世界につながっていくことを、しっかりとした口調で語りました。

1年生との異学年交流を通して根気よく関わり続けることの大切さを学び、障がい児保育士になりたいという将来の夢や希望について熱く語ったスピーチは、自身の体験をもとに考えや意見がまとめられていたばかりでなく、視点の捉えや具体性、将来を視野に入れた前向きで表現力豊かなスピーチでした。

スピーチが終わったあとには、会場応援にかけつけた6年生の男女5人の仲間たちも精一杯の拍手を送っていましたが、会場に響く拍手の大きさは、全ての参加者の中で一番大きく感じられました。

世界平和を願う気持ちは、私たち大人も子どもも変わりません。戦争のおこらない平和な世の中となり、世界中の人たちが、誰一人差別されることなく、安心して暮らすことができる日が一日も早く訪れることを願ってやみません。



学校・家庭・地域の新たな関係づくりについて ～『のほほの会』そして『シン懇話会』～

昨年度のPTA解体に伴い、本年度は、保護者の皆様が学校と共に話し合う機会が少なくなっています。学校では、子どもたちの様子や学校の教育活動について、保護者の皆様や地域の方々を交え、学級担任や管理職を含む教職員が一緒になり、ざっくばらんに語り合えるしゃべり場、

「のほほの会」を発足します。8月28日(月)と1月18日(木)の15:00から予定している「のほほの会」では、「オール六つ西！」で「西小の子どもたち」や「六つ西の教育」について語り合っただけであればと考えています。一方、昨年度まで「六つ西懇話会」として運営してきた「まちと共に歩む学校づくり懇話会」は、今年度より「シン懇話会」と名称を改め、再スタートをきります。委員の皆様には、これまでと同様、六つ川西小学校の取組への忌憚のないご意見をいただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

